

1.密度と吸水・透湿の関係

—— 発泡プラスチック共通の特性

EPSの吸水や透湿は、製品の密度によって大きく変わります。

EPSは、製品の密度が大きい(発泡倍率が小さい)ほど吸水量(吸水率)や透湿係数(透湿度)は小さく、耐水性は優れます。

このような、密度と吸水・透湿の関係(傾向)は、XPS(押出法ポリスチレンフォーム)やPUF(ポリウレタンフォーム)、PEF(ポリエチレンフォーム)においても同様ですから、発泡プラスチック断熱材共通の特性です。

図1～図5は、JIS A-9511-1995(発泡プラスチック保温材、解説)から、EPS・PUF・PEFについて、密度と吸水・透湿の関係データを示します(同解説317、340、345ページから引用、XPSについてはデータなし)。

図1 EPS 密度と吸水量の関係

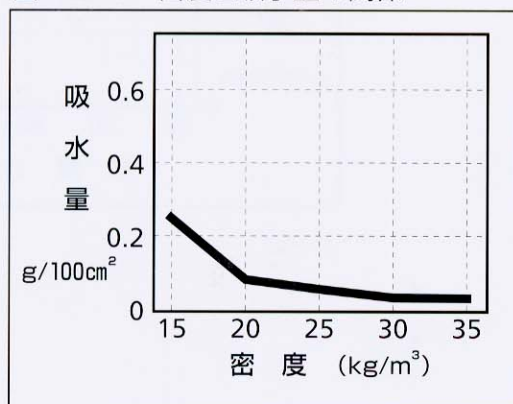
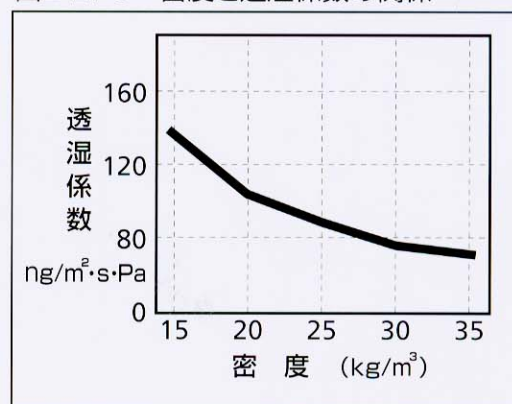


図2 EPS 密度と透湿係数の関係



■本資料に関するお問い合わせは

発泡スチロール協会・EPS 建材推進部

TEL.03-3861-9046 FAX.03-3861-0096

図3 PUF 密度と透湿係数の関係(参考)

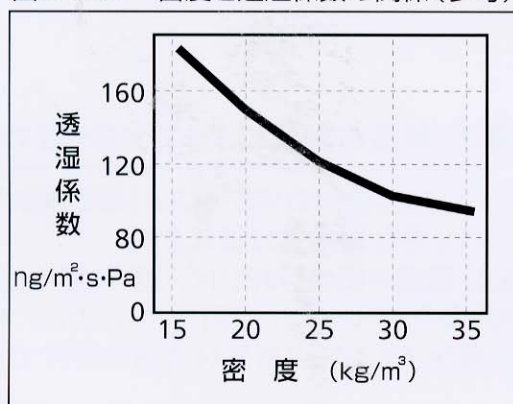


図4 PEF 密度と吸水率の関係(参考)

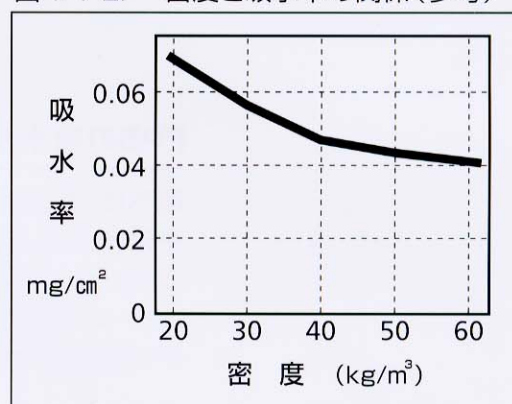
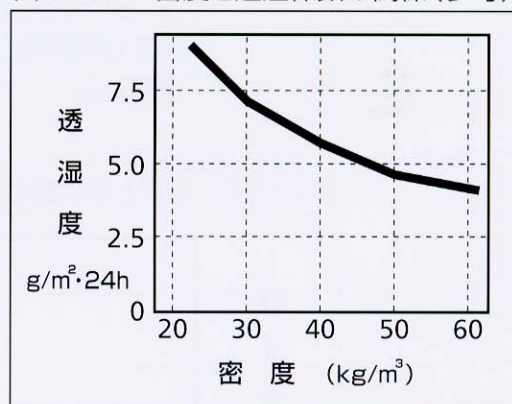


図5 PEF 密度と透湿係数の関係(参考)



■本資料に関するお問い合わせは

発泡スチロール協会・EPS 建材推進部

TEL.03-3861-9046 FAX.03-3861-0096